

## 下地 壁面

# ボード類

ALC、押し出し成型版、スレート板  
ケイカル板、ラスカット

### カチオンタイト 選定手順

- (1)次工程の仕上げ材を選択
- (2)適用材料を確認
- (3)施工道具を確認
- (4)塗り厚を確認

### 適用材料一覧

カチオンタイトF	⇒F
カチオンタイトT	⇒T
カチオンタイトFS	⇒FS
カチオンタイトTS	⇒TS
速硬カチオンコテ	⇒速コテ
速硬カチオンローラー	⇒速ロラ
カチオンフィラー	⇒フィラー
タイトワンコテ	⇒タイコテ
タイトワンローラー	⇒タイロラ
YS厚付けモルタル	⇒YS
速硬カチオン厚塗り	⇒速厚

(1)次工程の仕上げ材	(2)適用材料	(3)道具	(4)塗り厚
<b>無機系</b>	F/速コテ/タイ	コテ	1～3mm
(モルタル・漆喰・珪藻土など)	速厚	コテ	3～10mm
	YS	コテ	3～20mm
<b>タイル仕上げ</b>	F/FS/速コテ/タイ	コテ	1～3mm
(石張り仕上げ)	速厚	コテ	3～10mm
<b>水性塗料仕上げ</b>	F/速コテ/タイ	コテ	1～3mm
	速厚	コテ	3～10mm
	YS	コテ	3～20mm
	T/速ロラ/タイ	刷毛・ローラー	1mm
<b>溶剤系塗料仕上げ</b>	FS/速コテ	コテ	1～3mm
	速厚	コテ	3～10mm
	TS/速ロラ	刷毛・ローラー	1mm

### 施工上の注意

カタログP15 必ずご確認ください。

※各ボード類のジョイントは挙動がある為、塗りつぶさないで下さい。

- ・下地にクラックがある場合は、必ず補修をしてから施工して下さい。
  - ・コテ塗りのカチオンタイトは、コテ波が出やすい為、次工程で下地を拾うような薄い仕上げ材を施工する場合は、別途補修材の施工や、ペーパーを当てるなどでご対応下さい。
  - ・ローラー施工の場合、仕上がりはフラットにはなりません。その為仕上げ材が薄り塗材ですと、施工跡が仕なりに影響する可能性があります。
  - ・下地の凹凸を平滑にする場合はコテ塗りをご選定下さい。
  - ・次工程がタイル仕上げで、接着剤に一液弾性ボンドを使用する場合は、「速コテ」「速厚」をご選定下さい。
  - ・次工程で重量物を施工する場合は部材強度が十分にあるかご確認下さい。
- ※この表はあくまでも原則であり、施工箇所、条件などにより適用材料が変わる場合がございます、詳しくはお電話にてお問い合わせ下さい。